

第72回全琉小・中・高校 図画・作文・書道コンクール応募要項

【主催】沖縄タイムス社 【後援】沖縄県、沖縄県教育委員会、琉球放送、琉球朝日放送

【ねらい】・図画(絵画)＝児童生徒が感じたことや考えたこと、体験したことを伸び伸びと表現し創造性・感性を高める。

・作文(散文・韻文・創作文)＝児童生徒が考え、感じた事を文章で表すことを奨励し、知性の豊かな人間形成を目指す。

・書写、書道＝文字を正しく、美しく書く態度や技能を育て、創造的な自己表現力を高める。

作品応募受付

※作品提出や参加料の支払いに追加がないよう、一度にまとめてご応募下さい。

※窓口での受付は大変込み合いますので、郵送受付を推奨しています。

【規定】・学校単位でまとめて応募すること。(沖縄県内に在住、在学の児童生徒であること。)

・要項に違反した作品は審査対象外(落選)とする。

・作品はいずれも未発表の作品であること。ただし、学校内のコンクールは除く。

【期間・場所】

●郵送受付 9月2日(月)～12日(木) ※9月12日必着

〒900-8678 那覇市久茂地2-2-2

沖縄タイムス社 事業局文化事業部「全琉小中高図画・作文・書道コンクール」係

●出張受付 9月5日(木) 名護市港区公民館 午後1時30分～午後6時

9月6日(金) 沖縄市商工会議所 午後1時30分～午後6時

●沖縄タイムス本社受付 (3階タイムスホール)

9月9日(月)～12日(木) 午後1時30分～午後6時

【応募料・作品返却(発送)料】

応募料 200円×作品数 + 返却(発送)料 500円 ※学校ごと の 合計額

※受付期間内に必ずお支払い下さい。受付け後の返金はできません。

※審査終了後、作品はすべて学校へ返却(発送)します。

【支払い方法】 ①受付窓口で現金払い ②現金書留 ③銀行振り込み

振込先

琉球銀行本店営業部(店番号201)(普通)1288416

株式会社沖縄タイムス社 代表取締役 武富和彦

※振込名義は学校名 (●●市立等は省く)

※振込が確認できる用紙を提出して下さい(コピー可、作品と一緒に提出するかFAX、メールでも可)

【提出物】

- ①応募点数表 = 出品数の合計、支払額、学校担当者名などを記入して下さい。
- ②応募者名簿 = 部門や学年ごとの順に分けて記入。用紙は分けても可。(Excel、Word など書式は自由)
- ③作品 = 作品を損ねないよう部門や学年ごとに分けて提出。(作品裏にカードAを糊で貼り付ける)
- ④作品カード = 作品カードA、B両方記入。AとBは切り離さない。カードサイズは拡大縮小しない。
[図画][書道]作品裏の右上に貼る [作文]最終ページに白紙を一枚追加し右上に貼る ※Bは糊付け不要

【注】作品カードの氏名や学年が「新聞」、「賞状」に掲載されます
誤字トラブル防止のため、作品カードと名簿が正しく書かれているか確認して下さい

※出品に関する用紙①～④は、沖縄タイムスホームページ▶ <http://www.okinawatimes.co.jp/> からダウンロード可能です。

【審査発表】

- 審査 「最優秀賞」「優秀賞」「優良賞」「佳作」までの入賞作品を選定 (9月)
- 発表 「優良賞」までを、沖縄タイムス別刷紙面で発表 (10月下旬)
- 最優秀作品展 「最優秀賞」の作品を展示 (11月8日(金)～10日(日) タイムスギャラリー)
- 最優秀表彰式 「最優秀賞」受賞者へ賞状授与式を開催 (11月9日(土) タイムス本社)
- 賞状 「佳作」までの入賞者には、作品返却時に賞状を送ります (11月下旬)

【注】 賞状の訂正受付は2024年度内(2025年3月31日迄)

※期限を過ぎての再発行はいたしません

【作品返却】

- ・11月中旬頃より順次各学校に返却予定です。早めに返却希望の学校は事務局にご相談下さい。
- ・審査終了後、作品はすべて学校へ返却します。事務局で破棄はいたしません。
- ・入賞作品の中から各市町村等で展示されることがあります。展示会終了後に各主催団体から直接学校に返却されます。
- ・高校絵画の作品は託送での返却はできません。審査終了後に各学校に返却日時をご連絡しますので、指定日時に沖縄タイムス社にて直接お受け取り下さい。

【出品時の注意】

- ・出品者は当コンクールに関わる広報・関連イベント等において、作品の写真・記事・映像などの新聞、テレビ、雑誌等の印刷物及びインターネットへ使用されることを承知し、掲載物と著作権を主催者に一任すること。
- ・氏名を公表できない、氏名の漢字について特記事項などがある場合は、作品カードの[連絡事項]箇所に、※名前公表NG ※海(海ではなく旧字の「海」)など明記すること。
- ・著作権を侵害するような作品(出典の明示なく引用、無許諾、類似作品)と認められた場合は落選とする。
- ・応募作品の不可抗力による紛失、破損について主催者は責任を負いません。
- ・天変地異、その他やむを得ない事由により、安全かつ円滑なコンクール実施が不可能となった場合には、当コンクールを中止、延期、内容を変更する場合があります。

【お問い合わせ】

沖縄タイムス社 事業局文化事業部 (担当:柳、知花)

電話 :098-860-3588(平日10時~17時)

FAX :098-860-3493

メール:zuga-sakubun-syodou@okinawatimes.co.jp

＜提出物の確認＞

確認	提出物	
①応募点数表	出品数の合計、支払額、学校担当者名などを記入して下さい	
②応募者名簿	部門や学年ごとの順に分けて記入して下さい。用紙は分けても可。	
③作品 + ④作品カード	<p>【注】作品カードの氏名が「新聞」、「賞状」に載るので正しく記入して下さい</p> <p>部門、学年ごとに分けて提出、カードを作品の右上に貼る。 作品カードA、B両方記入。AとBは切り離さない。カードサイズは拡大縮小しない。</p> <p>氏名を公表できない、氏名の漢字について等の特記事項は、作品カード[連絡事項]箇所に ※名前公表NG ※海(海ではなく旧字の「海」) など明記。</p>	
④支払い 現金、書留、振込	(応募料)200円×作品数 + (返却送料)500円 = 合計金額	

＜作品カードの記入例＞

作品カード【A】 こちらを貼り付け

※名前は、新聞、賞状に載るので、正しく書いて下さい

①A・B両方記入、AとBは切り離さない、カードは拡大縮小しない
 ②カードAを貼り付け(※詳しくは応募要項参照)
 ③書道(臨書)は古典名を、創作は積文を題名に記入

学校コード	学年	特別支援	○	小学部 中学部 高等部
C-1948	2年			

特別支援の生徒は○を記入

学校名 **タイムス小学校**

名前 **沖縄 ワラビー**
ふりがな不要

※名前は新聞、賞状に載るので正しく書いて下さい

※連絡事項

題名 **夏休み**

部門 <small>※番号記入→</small> ①図画・絵画 ②散文 ③韻文 ④創作文(高校のみ) ⑤書道	番号 ①
--	---------

特別支援の生徒は○を記入し、
該当の学部を○で囲む

カードの名前が「新聞」や「賞状」に
載るので、きれいに正しく書いてね!

きれいに
正しく
書いてね



最優秀賞
優秀賞
優良賞
佳作

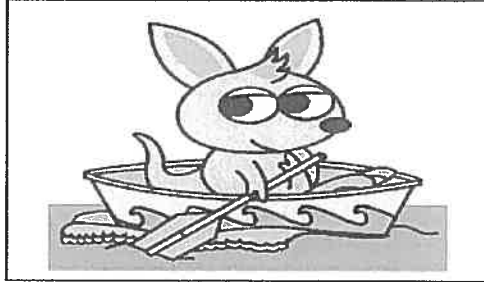
(作品カードA・Bは切り取らない)

- ①カード【A】部分を糊でしっかり貼り付ける(作品からはみ出さないように)
- ②カードサイズは拡大縮小しないこと ③作品カード【A】と【B】は切り離さないこと

<作品提出時の注意点>

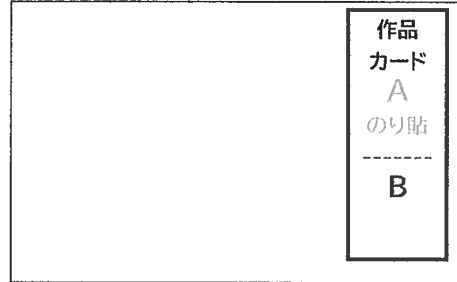
※作品表に学校名は書かないこと

【図画】



(表) ※用紙サイズ注意 ※高校は額装かパネル張り仕様 (裏)

作品裏面の右上に貼る ↓



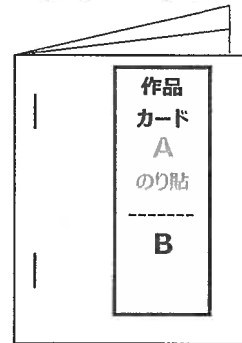
【作文】

最終ページに用紙1枚追加し裏面の右上に作品カードを貼る。
原稿用紙は二つ折りにし、必ずページ番号をつけてつづりホッチキスで止めること。



(表) ※B4 原稿用紙

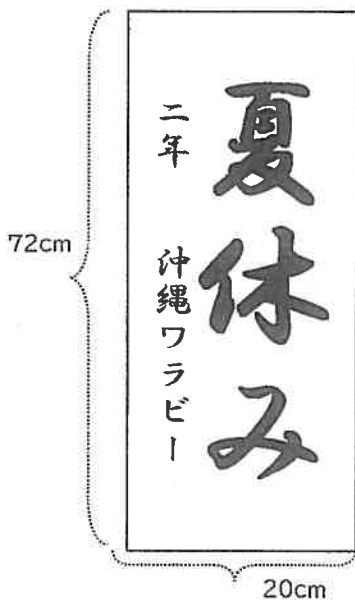
学校名は
書かないよ



(裏)

【書道】

作品裏面の右上に貼る ↓



(表)

(小学生の作品例)

1・2年

ひらがなのみか漢字1文字
含む3~4文字程度

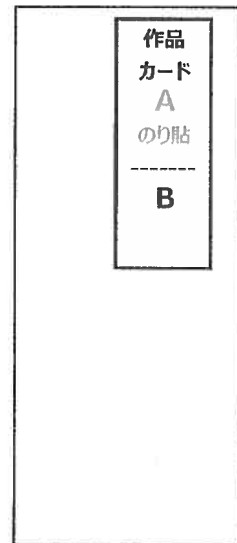
3・4年

漢字含む4文字程度

5・6年

漢字のみか、ひらがな1文
字含む4~5文字

※半紙は選外



(裏)

< 小学校 >

■ 図画

- ①応募点数は1人1作品まで。学年、学校での枚数制限は設けない。学年別にまとめて提出すること。
- ②クレヨン画、水彩画、アクリル画、版画、素描、平面デザインなどとし、原則として画用紙に描くものとする。
- ③大きさは四つ切り大(382mm×542mm)以内とし、それより小さい作品は四つ切りの台紙に貼って出品する。
- ④作品カードは、用紙の裏面右上に貼り付け、作品よりはみ出ないようにする。(カードA部分を糊付け)
- ⑤児童の発達段階をふまえた個性豊かな作品とし、参考作品等の模写、指導過多の作品にならないこと。

■ 作文

< 出品制限について >

- ・1校につき各学年から、散文4作品、韻文4作品までとする。
- ・散文と韻文(詩・短歌・俳句)の両部門に応募可。
- ・原稿は二つ折りにし、必ずページ番号をつけてつづり、ホッチキスで止めること。
- ・作品カードは最終ページの後ろに白紙を一枚追加し、その右上に貼る。(カードA部分を糊付け)

I. 散文部門

- ①応募点数は1人1作品まで。 ※読書感想文は対象外とする。
- ②題名の次の行には「学年、氏名」のみを記入。学校名は記入しないこと。
- ③作品は児童の直筆を原則とする。但し、児童が直筆で作成できない環境にある場合に限り代筆・パソコンによる作成を認める。この場合、作品カードに理由を明記すること。
- ④文字・枚数制限は以下の通り。学校名入りの原稿用紙は使用不可。

小学校1年生	400～600字以内	196字詰めか195字詰め原稿用紙の約2枚～3枚 B4判400字詰め原稿用紙の約1枚～1枚半
小学校2年生	680～800字以内	196字詰めか195字詰め原稿用紙約3枚半～4枚 B4判400字詰め原稿用紙の約1枚半～2枚
小学校3・4年生	1000字～1200字以内	B4判400字詰め原稿用紙の約2枚半～3枚
小学校5・6年生	1400字～1600字以内	B4判400字詰め原稿用紙の約3枚半～4枚

II. 韻文(詩・短歌・俳句)部門

- ①韻文部門は1人で最大3作品(詩、短歌、俳句それぞれ)に応募できる。
- ②詩1編(題名を記入、枚数制限なし)、短歌3首、俳句3句でそれぞれ1作品とする。3首、3句に満たない作品は審査対象外とする。(短歌、俳句は題名無し。一行目に「学年、名前」を記入する。)
- ③作成方法については散文部門と同様とする。

■ 書道【書写】

- ①応募点数は1人1作品まで。学年、学校での制限は設けない。学年別にまとめて応募すること。
- ②作品の表左側には、学年と氏名だけを書くこと。学校名や階級は記入しない、学校印も押さないこと。
- ③用紙のサイズは720mm×200mm。規定用紙外のサイズは審査対象外とする。
- ④作品は本表装又は仮巻きにせず作品のままとし、作品カードを裏面右上に貼る。(カードA部分を糊付け)
- ⑤課題は自由とするが、学校書写の教科書などの課題に準じ、学年相応の作品とする。
(楷書のみ)課題と落款(名前)が審査の対象となる。 ※誤字がないようにする。
- ⑥応募作品には“水洗いで落ちる墨汁(練習用)”や筆ペンを使用しないこと。
- ⑦作品は ▶1・2年＝ひらがなのみか漢字1文字含む3～4文字程度、
▶3・4年＝漢字含む4文字程度 ▶5・6年＝漢字のみか、ひらがな1文字含む4～5文字程度

< 特別支援学校・学級 >

※特別支援部門で応募希望の生徒のみ作品を提出して下さい。

■ 絵画部門

- ①応募点数は1人1作品まで。学年、学校での制限は設けない。学年別にまとめて提出すること。
- ②クレヨン画、水彩画、アクリル画、版画、素描、平面デザインなどとし原則として画用紙に描くものとする。
- ③大きさは四つ切り大(382mm×542mm)以内とし、それより小さい作品は四つ切りの台紙に貼って出品する。
- ④複数の生徒による作品の制作(合作)も認める。合作作品のサイズは問わない。
- ⑤作品カードは、用紙の裏面右上に貼り付け、作品よりはみ出ないようにする。(カードA部分を糊付け)
- ⑥児童生徒の発達段階をふまえた個性豊かな作品であること。

■ 作文部門

<出品制限について>

・学年、学校での制限は設けない。散文・韻文(詩・短歌・俳句)の両方に応募可。

I. 散文

- ①応募点数は1人1作品まで。 ※読書感想文は対象外とする。
- ②作品は児童生徒の直筆を原則とする。但し、生徒が直筆で作成できないと判断した場合は、代筆・パソコンによる作成を認める。その場合、生徒の直筆作品を添付する。
- ③題名の次の行には「学年、氏名」のみを記入。学校名は記入しないこと。
- ④原稿は二つ折りにし、必ずページ番号をつけてつづること。作品カードは、最終ページの後ろに白紙を一枚追加し、その右上に貼ること。(カードA部分をしっかり糊付け)
- ⑤文字・枚数制限は以下の通り。学校名入りの原稿用紙は使用不可。

小学校1年生～2年生	196字詰め(14字×14字)、もしくは195字詰め(13字×15字)の原稿用紙2枚～4枚。
小学校3年生～高校生	原稿用紙は400字詰め、196字詰めどちらかを使用し枚数は3枚～8枚

II. 韻文(詩・短歌・俳句・川柳)

- ①作成方法については散文部門と同様。
- ②韻文部門は、1人で最大3作品に応募できる。
詩 1編(題名を記入、枚数制限なし)、短歌 3首、俳句・川柳 3句。短歌は3首、俳句・川柳は3句に満たない作品は、審査対象外とする。短歌・俳句は「題名」無し、一行目に「学年、氏名」を記入、学校名は記入しないこと。

III. 創作文

- ①作成方法については散文部門と同じとする。
- ②高等学校(高等特別支援学校、高等支援学校、高等部)のみの応募とする。

■ 書道部門

- ①応募点数は1人1作品まで。学年、学校での制限は設けない。学年別にまとめて提出すること。
- ②作品の表左側には 学年と氏名だけを書くこと。学校名や階級は記入せず、学校印も押さないこと。
- ③課題は自由とする。
- ④用紙のサイズは問わない。
- ⑤作成方法 書写とする(楷書、行書とする)。
- ⑥作品は本表装又は仮巻きにせず作品のままとし、作品カードを裏面右上に貼る。(カードA部分を糊付け)

作品カード【A】 こちらを貼り付け				
※名前は、新聞、賞状に載るので、正しく書いて下さい				
①A・B両方記入、AとBは切り離さない、カードは拡大縮小しない ②カードAを貼り付け(※詳しくは応募要項参照) ③書道(臨書)は古典名を、創作は釈文を題名に記入				
学校コード	学年	特別支援	小学部	
C-1308	年		中学部	
			高等部	
学校名	特別支援の生徒は○を記入			
登野城小学校				
名前	ふりがな不要			
	※名前は新聞、賞状に載るので正しく書いて下さい			
※連絡事項				
題名				
部門	①図画・絵画 ②散文 ③韻文 ④創作文(高校のみ) ⑤書道	番号		
※番号記入→				

事務局記入欄

最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳作
------	-----	-----	----

-----作品カードA・Bは切り離さない-----

作品カード【B】 Bは貼り付け不要				
※名前は、新聞、賞状に載るので、正しく書いて下さい				
学校コード	学年	特別支援	小学部	
C-1308	年		中学部	
			高等部	
学校名	特別支援の生徒は○を記入			
登野城小学校				
名前	ふりがな不要			
	※名前は新聞、賞状に載るので正しく書いて下さい			
※連絡事項				
題名				
部門	①図画・絵画 ②散文 ③韻文 ④創作文(高校のみ) ⑤書道	番号		
※番号記入→				

事務局記入欄

最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳作
------	-----	-----	----

作品カード【A】 こちらを貼り付け				
※名前は、新聞、賞状に載るので、正しく書いて下さい				
①A・B両方記入、AとBは切り離さない、カードは拡大縮小しない ②カードAを貼り付け(※詳しくは応募要項参照) ③書道(臨書)は古典名を、創作は釈文を題名に記入				
学校コード	学年	特別支援	小学部	
C-1308	年		中学部	
			高等部	
学校名	特別支援の生徒は○を記入			
登野城小学校				
名前	ふりがな不要			
	※名前は新聞、賞状に載るので正しく書いて下さい			
※連絡事項				
題名				
部門	①図画・絵画 ②散文 ③韻文 ④創作文(高校のみ) ⑤書道	番号		
※番号記入→				

事務局記入欄

最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳作
------	-----	-----	----

-----作品カードA・Bは切り離さない-----

作品カード【B】 Bは貼り付け不要				
※名前は、新聞、賞状に載るので、正しく書いて下さい				
学校コード	学年	特別支援	小学部	
C-1308	年		中学部	
			高等部	
学校名	特別支援の生徒は○を記入			
登野城小学校				
名前	ふりがな不要			
	※名前は新聞、賞状に載るので正しく書いて下さい			
※連絡事項				
題名				
部門	①図画・絵画 ②散文 ③韻文 ④創作文(高校のみ) ⑤書道	番号		
※番号記入→				

事務局記入欄

最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳作
------	-----	-----	----

切り取り線

切り取り線